

練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩正子 小沼綾子 田場洋和 吉田巳蔵
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

第46回総会に会員皆さまのご参加を！

5月28日（土）後1時半～5時半 職員研修所 前半は講演、後半懇親会
出欠ハガキは5月10日必着で

46回を迎える総会は、下記の日程で行うことになりました。前半は日ごろからお世話になっている永田浩三・武蔵大教授に基調講演をお願いし（別項）、総会をはさんで後半は出席したすべての会員からの発言をいただく懇親会とし、若さあふれる総会を目指しております。是非多くの会員の皆さまのご出席をお願いいたします。出欠ハガキを同封いたしましたので、5月10日必着でご連絡ください。

○総会次第

午後1時～「受付」開始（年会費2千円も受けます。講演資料代300円、懇親会費1000円）

午後1時半～2時半：基調講演：永田浩三・武蔵大教授（資料代300円）

午後2時45分～3時45分：総会（活動報告・活動計画、決算・予算、新役員選出）

午後3時50分～5時半：懇親会（会費1000円）

（田場記）

基調講演：「安倍政権のマスコミ戦略—市民はメディアとどう付き合うか」（仮）

講師は永田武蔵大教授、会員以外にも広く参加を呼びかけへ

永田教授は、NHK在職当時、日本軍「慰安婦」番組改ざん問題で当時の安倍官房副長官から番組改ざんを迫られました。この問題は日本軍「慰安婦」問題が広く論じられるきっかけにもなりました。その経緯を振り返っていただきながら、現在も続けられている靱井会長の専横・独断とそれに対する退陣要求などの取り組みを報告いただきます、そして国会での「放送法・電波法で放送局の免許停止もできる」という高市総務大臣の暴言などにみられる安倍政権のマスコミ戦略、さらに「市民とメディア」の関係

について縦横に語っていただきます。

永田さんは最近「隙だらけ好きだらけ日記抄—練馬・江古田からメディアをみつめる2012年～2015年」（B5・130P）という著作を刊行されました。7年前にNHKを退職されて、これで10冊近い著作になるのではないのでしょうか…。今回の講演では、この「日記抄」も踏まえながら、（会場で定価500円で販売）お話しいただきます。近く基調講演の独自チラシも作成し、会員外にも広く参加を呼びかけます。

（田場記）

安倍政権を倒すために練馬区民が野党共闘を結ぼう（チラシ参照）

21日後7時～区役所会議室で練馬・みんなで選挙（ねりせん）発足会議
呼びかけ人になっていただける方は森田まで連絡ください

安倍政権の悪政に立ち上がった練馬区民は、この1年間だけでも過半数を越すほどに盛り上がりを見せております。「戦争させない！」「戦争に行かせない！」200万人署名は、今全国で500万人以上に上り、練馬区内でも、3万筆をこしました。練馬区内10万筆目標にはまだ届きませんが、連日、奮闘しております。

こうした情勢の下で、安倍内閣は、7月に衆参同日選挙を意図しております。野党は、まずは、参院選で野党共闘を結び、全国10数か所での統一候補を擁立することで動き出しました。東京では、複数区なので、共闘は難しいが、安倍自公政権を倒すために全力を集中しております。

練馬区でも、総選挙で、とにかく練馬の9区、10.区で菅原一秀、小池百合子を倒すために、どれだけの人たちを集められるのか、どれだけ投票率をアップさせられるのか。

ここで、練馬区民の有志は、「練馬・みんなで選挙(略称ねりせん)」を作ろうと呼びかけをしました。これは、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が発表した①安全保障関連法の廃止 ②立憲主義の回復(集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を含む) ③個人の尊厳を擁護する政治を実現するための野党共闘の要求 に共感し、練馬でも野党が共闘して衆議院小選挙区制で統一候補を立てることを目

指しています。

この会は、個人が基本です。まず呼びかけ人になって、100人から1,000人へそれから10,000人へと増やし、「ねりせん」の応援団を作っていきます。同封チラシにありますように、4月21日（木）後7時～区役所19階1902号室で発足会議をもちます。

小選挙区では、共闘は難しいという声もあります。まず、下から盛り上げて、政党同士が話をやりやすいように仕組んでいくことが重要です。同時に今選挙から、18歳以上の若者が、選

挙権を持ちます。こうした人たちに向けてどれだけ投票所に言って、投票率をあげられるのか、鍵です。文化の会会員で「呼びかけ人」におなり頂ける方は下記の森田までご連絡・お申し込みください。

（森田記）

「呼びかけ人」申込先：森田彦一

〒176-0006 旭丘1-7-7 電話 3951-4276

Fax 3951-0616 携帯 090-2520-9903

Eメール dmi-morita@yahoo.co.jp

「沖縄映画祭」（9月24日～10月2日、ギャラリー古藤で計画）

5月10日午後7時～のココネリ研修室での実行委員会にご参加を！
上映作品のリストアップや期間中の運営体制、予算など検討

「沖縄映画祭」（仮称？江古田映画祭オブ沖縄）が江古田映画祭の永田教授、もあい練馬の柏木さん、文化の会3者で9月22日～10月2日に実施することを決め、これに基づき、5月10日にココネリ多目的室で第1回の実行委員会を行うことになりました。文化の会からは有原さんをはじめ5、6人が出席する予定ですが、ご協力いただける会員の飛び入り参加大歓迎です。

○これまでに上映作品の候補に挙げられている作品は以下の通りです。

- ・「うりずんの雨」（ジャン・ユンカーマン監督、シグロ30周年記念作）
- ・「教えられなかった戦争—阿波根昌鴻」、高岩仁監督
- ・「標的の村」「戦場ぬ止む・・・」（三上知恵監督）

・「ザ・思いやり」（相模原在住の米人 リラン・パークレー監督）

・日本テレビ系の森口豁テレビドキュメンタリー28作品とトーク

「ONE SHOT ONE KILL 沖縄海兵隊」（68分、影山あさ子）

・ドラマ「沖縄」（共同映画配給、主演一地井武男、吉永 ）

・戦後日本の原風景vol.10『沖縄の軌跡 沖縄33万島民の悲劇』（85分）朝日放送、ドキュメンタリー工房、DVD：16,200円

・「オール沖縄」のたたかひの源流を描いた『沖縄ぬ思い（うちなあぬうむ）』（98分）田野多栄一監督、企画・制作：製作委員会、協力—沖縄統一連、

（田場記）

開進地区教育懇談会「主権者教育を考える」

— 若者の市民意識を高めるために、今、何が必要なのか？ —

解説：山口不二夫さん（明治大学大学院教授）

4月24日（日）午後2時～4時30分 開進第二小学校会議室 参加費300円

選挙権年齢が18才に引き下げられたことによって俄然と高校生への「主権者教育」が強調されるようになりました。社会に出る前に市民としての基本を身につけることは必須です。しかしながら、一見、高校生の主体的な思考と表現を奨励しているように見えますが、教師が政治的中立性を守ることは具体的にどのようなことをいうのかという議論のないまま、中立性を破った教師への罰則の検討や、高校の教科書「現代

社会」への文科省の中立性を欠くとしか思えない検定意見。また一部自治体での校外の選挙運動に参加するには学校に届け出るという校則の検討など。奨励していると言いながら一方での萎縮させるような環境作りに対して、ほんとうに主権者としての市民が育つのかという疑問が湧き起こっています。ふさわしい主権者教育とは何なのかを市民の私たちがしっかり考えて学校を支援する必要があります。

文科省と総務省がこの度、全国の高校生に配布した主権者教育の教科書（副教材）「私たちが拓く日本の未来」には、「憲法改正国民投票」を解説する項目が唐突に出てきます。私たち市民にとって、独自に描く国家像実現のために、子どもたちへの操作が大切なのか、それとも主権者として個々の市民を育てることそのものが大切なのか、この峻別が地域社会の中から厳密にできることが学校教育を支える生命線ではないのでしょうか。皆さんと一緒に考えましょう。

開進地区教育懇談会は、毎回、有識者を招き、

テーマに沿った問題点の解説や自らの提言などを話していただいています。次にその解説と提言に基づいて参加者による意見交換に時間を取っています。聴いて帰るだけの講演会ではなく、出席者が議論に参加して、理解を深め、新たな気づきを得て、各々の活動の中で活かすことが出来れば幸いです。すでに何かが出来上がってまとまった懇談会ではありません。毎回、学校の教師も一般区民も共に作り上げていくものですから、どうぞ気楽に、そして積極的にご参加ください。

（浅原修一記）

**憲法骨抜きNO！練馬主催で「放送法」学習会 講師：砂川浩慶・立大准教授
6月25日（土）午後2時～4時半 文化の会協賛、職員研修所、資料代500円**

国会で高市総務大臣が「放送内容に問題があれば、放送法・電波法に基づき放送局の免許を取り上げることができる」という発言が波紋を呼び、この発言に対する研究者の反論を聞いて、「放送法の本質・基本が民主主義擁護で多角的な言論保障にあるとは知らなかった」という声を多く耳にします。そこで、あらためて「放送法」と憲法を学び直そうということから企画されたものです。

憲法が国会議員や行政を縛ると同じく、放

送法も国会や行政を縛る法律として制定されています。アメリカの場合、行政が直接、放送局の免許をおろさず、独立行政委員会が免許権をもっている点が、日本と基本的に異なりますが、少なくとも日本の放送法は民主主義に資するとされています。安倍政権の横暴を許さないためにも、電波主権が国民にあることはもっと多くの人に知られる必要があります。放送行政でも安倍政権の横暴を許してはなりません。

（田場記）

**4月4日の「多様な生き方を認める社会を」の平良愛香講演に55人参加
多くの理解者を得ることこそ性的少数者の権利拡充に直結**

昨年11月下旬から12月中旬にかけて、自治体議員による同性愛者差別発言や差別言辞が各地で相次いで発生した。神奈川県海老名市・東京都練馬区・岐阜県・山形県山形市…。このうち海老名市・岐阜県・山形市の場合は議員自身のツイッター上での発言や議会での野次などによるものであったが、11月30日、練馬区議会第4回定例会の本会議の席上、一般質問に立った自民党の小泉純二議員は、『同性愛者のカップルには子どもが生まれない』『結婚とは次の世代を生き育てるもの』と発言したばかりか、渋谷区の「同性パートナーシップ条例」を批判して、『男女による結婚の価値観を否定するもの』と批判、さらに、渋谷区の条例が学校教育に於ける性的少数者への理解を深める旨志向していることについて『教育への介入で、子どもの価値観を混乱させかねない』と断罪した。

これらの発言は、今や世界的な潮流ともなりつつある「性の多様性」を否定し、日本の“悪しき因習”ともされる家父長制のさらなる助長

を促すものであり、しかもそれらが議会における正式な発言の場となされたことを思えば、海老名市・岐阜県・山形市のケース以上に罪深いものとは言えないだろうか。

この発言を受け、意識ある区民と超党派区議が協力し、4月4日（月）、『多様な生き方を認める社会を～練馬区議会における性差別発言を考える～』と題した集会を開催した。主催は練馬・文化の会、練馬区議会における性差別発言問題を考える会。参加者55名。

トークゲストは、日本で初めてゲイ（男性同性愛者）を公言して牧師となった平良愛香さん（1968年生まれ。日本キリスト教団三・一教会牧師／日本キリスト教団神奈川教区議長／立教大学非常勤講師）。



平良愛香さんは、キリスト者家庭に育った自分の生い立ちから話し始め、自己の同性愛者としてのカミングアウトを5つの段階に分けて説明、社会の「常識」が如何に性的少数者たちを苦しめているかを参加者に訴えた。とりわけ、苦しみ抜いたあげく一時は自死まで考えた彼を救ったのは、世の「常識」に左右されない母親の深い愛情と、同じく苦しみにあえいでいる多くの性的マイノリティの仲間たちとの出会いであることを語り、仲間作りとたくさんの理解者を得ることが性的マイノリティの権利拡充に直結することを力説した。

(藤井達郎記)

地域の会主催の放射35号線（早宮・桜台・練馬）第1回セミナーに30人 第2回セミナーも「道路予算」テーマに5月9日（月）後7時ココネリで開催

練馬駅北・南を縦断する放射35号線の整備計画が本格的に動き出しそうです。

西武線と交差する大門通りと弁天通りの真ん中を貫通し、石神井川と交差し、早宮から平和台に抜ける路線で、まさに桜台と練馬の町を分断する道路です。すでに70年前に計画された道路で、当該住民では噂になっていた話です。これが3月末に都から発表された整備方針で明記されました。「外環の2」や大泉2中を分断する整備計画と一緒に「方針」に格上げされたのです。

こうした道路計画は土地買い上げのための「測量調査」が始まれば、工事開始のゴーサインと同じになり、その時点で反対をいっても何の効果もありません。そこで、



また、議員からの発言として、とや英津子練馬区議（共産党）・橋本けい子練馬区議（生活者ネット）以外にも、共にゲイを公言している石坂わたる中野区議（無所属）と石川大我豊島区議（社民党）も発言、石坂議員は性的少数者間でも発生している差別の現実を、石川議員は近隣自治体間の協力体制作りの推進をそれぞれ訴えた。

フロア発言やフリートークもなかなか充実したものであり、時間が経つのがあっという間の150分であった。

桜台、練馬町の住民でつくる練馬地域の会では行政側との話し合いを想定して、まず基礎的な問題を学ぶためにセミナーに取り組むことになり、4月2日（土）に第1回が行われました。自治問題研究所の安達智則・主任研究員を講師に、テーマは「道路予算のクラクリを考える」。30名が参加し、安達さんは国家（一般）予算が96兆円と報道されるが、内容が問題として取り上げられるのはこの一般予算だけ。道路予算を含む特別会計をいれると実は500兆円にのぼるものの、道路予算はマスコミ報道だけでなく、国会の論議でさえほとんど取り上げられないと指摘。ゼネコンの食い物にされる道路予算の基本的な問題が明らかにされました。

引き続き第2回セミナーが5月9日（月）午後7時～ココネリ会議室で、同じ安達智則さんを講師に行われます。

(田場記)

2015年度総会前最後の幹事会に多くの方のご参加を！ 定例幹事会—5月18日（水）後6時半～ココネリ研修室3

4月に行われた定例幹事会には久しぶりに二ヶややはり多くの方の出席だと緊張感が違います。夕の参加があり、活発な議論が交わされました。

年会費未納の方に振込用紙同封しました

日ごろ会費の納入にご協力をいただき有難うございます。ただ、いまだ未納の方がいらっしゃいます。会費を値下げいたしましたので、未納の方がいられると会の運営に支障をきたします。

今回、未納と思われる方に振込用紙を同封いたしましたので「ゆうちょ銀行」にてお振り込みをお願いいたします。なお、本通知に行き違い等がございましたらご容赦のほどお願い申しあげます。会費に関する問い合わせは次にお願ひ致します。

轡田(くつわだ)英夫 03-3948-5129 メールアドレス rsc03465@yahoo.co.jp